

THE JAPANESE JOURNAL FOR
HISTORY OF PHARMACY

薬史学雑誌

Vol. 49, No. 2.

2014

—目 次—

総会講演

ICHの歴史—ICHの形成にたどるわが国医薬品の国際展開—……………黒川 達夫……………165

柴田フォーラム

「薬師如来像の薬壺」の研究から私が学び得たもの……………奥田 潤……………171

原 著

日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷（その14） ドイツ薬局方（DAB）におけるワレリアナ根
の規格・試験法の変遷と USP, BP, EP, JP との対比ならびに DAB6（1926）に掲載のワレリアナオイル
（本邦産纈草油）について……………柳沢 清久……………176

近代日本医薬品包装史 2 江戸から明治へ 薬の販売単位……………服部 昭……………190

資 料

日本における抗癌剤開発とガイドラインの歴史……………前田 英紀, 黒川 達夫……………196

米国における血漿分画製剤規制関連制度の歴史……………福澤 学, 津谷喜一郎……………205

記 事

八戸歴史散歩—安藤昌益見聞記—……………煙山 信夫……………214

第19回日独シンポジウム参加報告……………田中 玉美……………217

日本薬史学会年会特別講演・年会講演要旨

ボタニカルアートから見た薬の歴史……………正山 征洋……………226

北部九州出身の二人の医学者：賀来飛霞（本草学）と林洞海（薬理学）……………佐藤 裕……………228

日本薬史学会 2014（平成 26）年会講演要旨……………219

THE JAPANESE SOCIETY FOR HISTORY OF PHARMACY

c/o CAPJ, 4-16, Yayoi 2-chome,
Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0032 Japan

薬史学誌
Jpn. J. History Pharm.

Indexed in Medline Since 1980

日 本 薬 史 学 会

<http://yakushi.umin.jp/>

